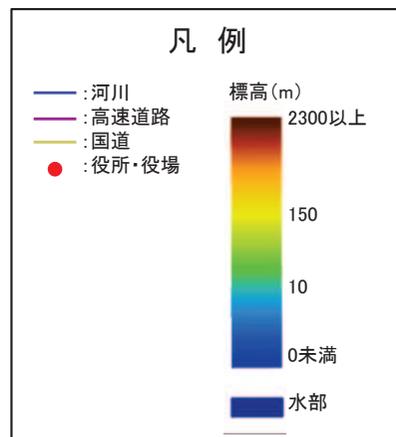


【参考資料】 自然の恵みと災害リスク 〈置賜地域〉

- 置賜地域は、東を奥羽山脈、西を朝日山地、南を吾妻山地・飯豊山地、北は朝日山地など、標高2,000m級の山々に囲まれた地形であり、山形県の母なる川「最上川」の源である吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地と長井盆地、そして小国盆地からなります。明治時代に英国の女性旅行家“イザベラ・バード”がこの地を訪れた時、実り豊かな大地と人情の豊かさから「東洋のアルカディア」と称した美しく豊かな地域です。
- 一方で、急峻な山岳から平野部への急激な地形の変化に加え、最上川の支流が一点に集中する樹枝状の水系のため、山地の降雨が短時間に平地を駆け下り洪水が一時に集中することもしばしば発生します。



地図出典：国土地理院デジタル標高地形図（山形県）
に加筆し作成

1. この地域の地形からもたらされる自然の「恵み」

(1) 最上川の源流部としての歴史と豊かな水資源

- 山形県の母なる川最上川の最上流部にあたる米沢市は、中世以降城下町として発展してきました。最上川と飯豊山系に源を発する置賜白川・野川と最上川との合流地点には長井市が位置し、良質で豊富な水量に恵まれ、舟運流通の中心地として、紅花の産地である白鷹町とともに遠く関西などとの貿易で栄えました。飯豊連峰の雪解け水が流れ込んでつくり出される白川湖の水没林など、こうした地域の自然が育む多様な景観は、今も最上川流域の豊かさを象徴しています。



出典：やまがたへの旅

図 白川ダム湖岸公園(水没林)



出典：高畠町

図 デラウェア

(2) 火山がつくる温泉

- 地域の南側に広がる吾妻連峰の大部分は、磐梯朝日国立公園に指定されており、四季折々の自然景観が楽しめます。また、米沢の奥座敷である小野川温泉のほか、吾妻の山々には古くから奥羽三高湯の一つと言われた白布をはじめ、姥湯、大平、滑川、新高湯、五色、湯の沢といった特徴が異なる温泉が楽しめる温泉群（米沢八湯）がある地域です。



出典：山形県

図 姥湯温泉



出典：米沢市

図 小野川温泉

(3) 盆地気候が生む豊かな実り

- 盆地特有の「夏は高温多湿、冬は厳寒」という激しい寒暖差が、豊かな農作物を育みます。全国的に有名な米沢牛、生産量日本一を誇る高畠町のデラウェアをはじめとする果樹栽培が盛んであり、酒蔵やワイナリーが数多くある、グルメ観光が充実した地域です。

大地の成り立ちと災害リスクを正しく認識するとともに、土地がもたらす「恵み」についても併せて理解する防災学習が重要です。

2. 「恵み」と共にある災害リスク

(1) 地震災害リスク

- 長井盆地西縁断層帯は、山形県南部の長井盆地の北方から長井盆地西縁、米沢盆地西縁にかけて分布する活断層帯です。長さは約51kmで、南北方向に延びており、断層の西側が相対的に隆起する逆断層と推定されています。全体が1つの区間として活動する場合、マグニチュード7.7程度の地震が発生する可能性（30年以内に、0.02%以下）があります。その時、断層近傍の地表面では西側が東側に対して相対的に2.5m程度高まる段差や撓みが生ずる可能性があります。

(2) 水害リスク

- 置賜地域では、急峻な山に囲まれ滝のように流れる川から構成されています。山間を流れた河川が平地に移行する部分は扇状地が形成されています。この地域の洪水の原因は、主に前線や低気圧による大雨と融雪出水です。
- 令和4（2022）年8月の大雨では、置賜白川に位置する椿雨量観測所（国土交通省）において、昭和42年8月の羽越水害を上回る降雨量を記録し、各地で溢水氾濫が発生、川西町や飯豊町などでは数多くの住家被害と人的被害が発生しました。また、橋梁の損壊、落橋が相次ぎ、小白川に架かる大巻橋、JR小白川橋梁等が被災したことで長井飯豊線（県道10号）ならびにJR米坂線の交通途絶が生じるなど甚大な被害が発生しました。

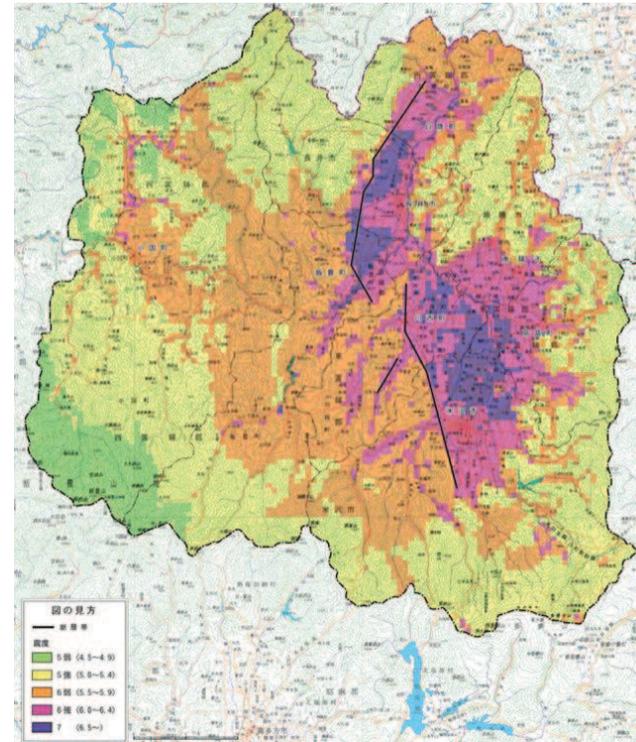


図 長井盆地西縁断層帯マップ（山形県HP）

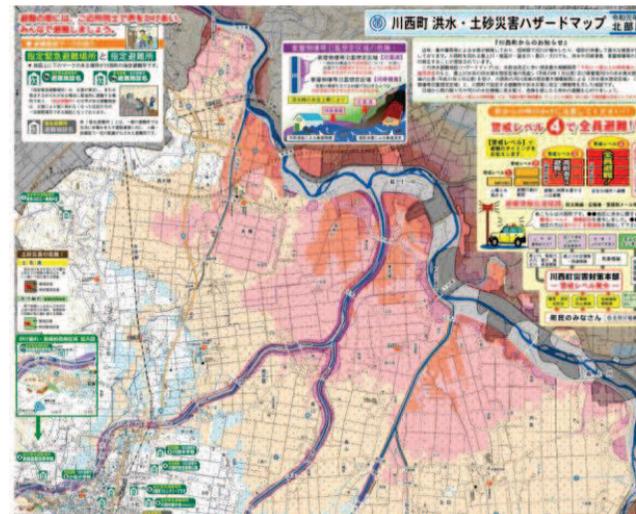


図 川西町洪水ハザードマップ（川西町HP）

ハザードマップ(HM)
参考情報
(R8年3月時点)

山形県 地震ハザードマップ



リンク先：山形県HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

重ねるハザードマップ
(置賜地域・洪水・土砂災害HM)



リンク先：国土交通省HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

2. 「恵み」と共にある災害リスク

(3) 火山災害リスク

- 吾妻山は、山形・福島県境にある多数の成層火山や単成火山などからなる火山群で、気象庁による常時観測火山に指定されています。北列の多くの火山は山頂火口をもち、東部の一切経山付近には、五色沼、大穴、桶沼、吾妻小富士など、多くの新しい火砕丘や火口が形成されています。有史以降の噴火は、大穴火口とその周辺の爆発で、現在その南～東斜面には噴気地域が広く分布しています。
- 現在（2026年3月6日時点）、大穴火口や燕沢火口列周辺では、火山ガスの噴出が認められており熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。

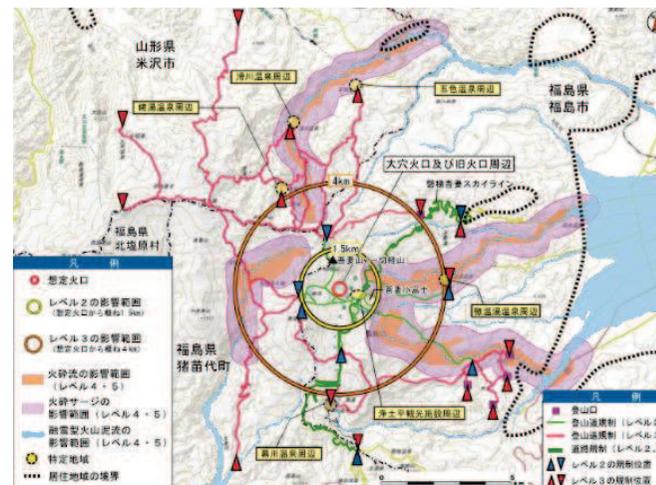


図 吾妻山噴火警戒レベルと規制範囲 (気象庁HP)

(4) 雪害リスク

- 山形県は県全域が「豪雪地帯」に指定されていますが、置賜地域では全域が「特別豪雪地帯」に指定されている国内有数の豪雪地帯です。
- 置賜地域は、吾妻・飯豊・朝日山系に囲まれた急峻な地形が多く、特に雪解けの季節では大規模な雪崩が発生しやすい地域です。2015年の大雪では、主要地方道米沢飯豊線で豪雪に伴う雪崩により、全面通行止め及び片側交互通行が発生し、延べ85日間の長期にわたり地域交通や住民生活等へ大きな支障が生じました。



出典：山形県

図 上杉雪灯籠まつり

(5) 土砂災害リスク

- 県内では、奥羽山脈及び朝日山地等の山地に囲まれた急傾斜地が多いこと等から、がけ崩れや土石流などの土砂災害危険箇所が県内全域に点在しています。

ハザードマップ(HM)
参考情報
(R8年3月時点)

吾妻山の噴火警戒レベル
発国土交通省気象庁



リンク先：気象庁HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。

山形県雪情報システム



リンク先：山形県HP

※詳細な情報は、皆さんがお住まいの自治体のHPより公開されているものをご確認ください。